

「実務者研修+行動援護・全身性障害者移動支援コース」訓練生募集

◆訓練の概要(初心者向)

訓練目標 (仕上がり像)	兵庫県知事指定の <u>介護福祉士実務者研修・行動援護従業者養成研修・全身性障害者移動支援従業者養成研修</u> を含む講座として訓練修了者には修了証書を発行する。介護に従事する者としての心構えをはじめ、より実践的な知識・技能を習得し即戦力となる人材を育成する。介護技術については座学での知識習得を基に実践に即した確実な技術を習得する。福祉施設の現状を理解し、介護者としてどのような心構えで介護すべきかを常に考える事ができる人材となる。
取得資格等	修了時に取得可能な資格 ・介護福祉士実務者研修　　・行動援護従業者養成研修　　・全身性障害者移動支援従業者養成研修

※職業訓練の目的は、訓練修了後の早期就職を目指すものです。

◆募集日程及び訓練期間等

- ・募集定員 15名（最少開講人数 7名）
- ・募集期間 令和8年1月16日(金)～令和8年2月17日(火)
- ・選考日 令和8年2月27日(金) 9:30（時間厳守）
- ・合否通知発送 令和8年3月4日(水)（予定）
- ・訓練期間 令和8年3月12日(木)～令和8年9月11日(金)（6ヶ月）
原則、土・日・祝を除く5日間 9:40～16:20 ※4/18、5/9 土曜授業あり



◆コース説明会

令和8年1月16日(金)、1月21日(水)、2月3日(火)、2月12日(木) 11:00

於: 下記座学訓練場所 ※上記日程以外でもコース説明会の受付可能、お問合せください。

(訓練コースの説明や施設見学の希望者は、事前にご連絡ください。)

連絡先: 072-770-5511 (担当: 安原)

※コース説明会場所 201号室にお越しください。

◆申込先等

居住地を管轄する公共職業安定所で面談の上、備え付けの「入校願書」に必要事項を記入し、写真を添付して申し込んでください(写真は、タテ4cm、ヨコ3cm1枚)。受験票などの送付はいたしません。

◆入校選考

- ・下記座学訓練場所(裏面地図参照)で筆記試験、面接により選考を行います。
- ・筆記用具(ボールペン、シャープペンシル等)を持参してください。消せるボールペンは不可

◆座学訓練場所

学校名: かがやきヘルパースクール伊丹校 TEL: 072-770-5511
訓練場所: 〒664-0858 兵庫県伊丹市西台1丁目6-6 フォレスト伊丹301号
最寄 阪急伊丹駅から徒歩3分(0.3km)

◆必要経費

教科書代他 19,360円 職業訓練生総合保険料 4,900円
補講料(1h) 1,500円 ※法定科目に係る欠席1h

◆問合せ先 原則として居住地の公共職業安定所、または下記の学院にお問い合わせください。

※訓練内容及びコース説明会に関するることは上記座学訓練場所に直接お問い合わせください。

兵庫県立神戸高等技術専門学院

〒651-2102 神戸市西区学園東町5丁目2番 TEL: 078-894-3730

担当 松原

◆主な学科・実技

科 目	科 目 の 内 容	訓練時間
学 科	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立
	社会の理解Ⅰ 社会の理解Ⅱ	介護保険制度の理解・社会のしくみの理解
	介護の基本Ⅰ・Ⅱ・コミュニケーション技術	介護福祉士と介護の考え方・介護福祉士による介護実践・コミュニケーション技術
	生活支援技術Ⅰ	自立に向けた生活支援技術の基本
	こころとからだのしくみⅠ	介護に関連するからだのしくみ
	発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ	老化に伴うこころとからだの変化・老年期の発達
	認知症の理解Ⅰ・Ⅱ	成熟と健康・認知症の基礎的理義・認知症の医学的理義と支援の実際
	障害の理解Ⅰ 障害の理解Ⅱ	障害の基礎的理義・障害の医学的理義と支援の実際
	介護過程Ⅰ 介護過程Ⅱ	介護過程の基礎的理義・介護過程の展開の実際
	医療的ケア	医療的ケア実施の基礎
	医療的ケアの振り返り	医療的ケアの習得の確認
	行動援助	強度行動障害がある者の基本的理義・制度及び支援技術の基礎的な知識・チーム支援に関する講義・強度行動障害と生活の組立てに関する講義
	全身性障害者移動支援	全身性の障害を有する者(児)に対する外出のための支援に関する知識及び技術を習得
	キャリコン	職務経歴・履歴書の作成指導・ジョブカードを活用したキャリアコンサルティング及び能力評価・就職支援の管理・模擬面接
	就職支援	施設人事担当者企業説明・求人情報の提供
	職業人講話	現場で働く人の講話
	科目の掘り起こし	法定科目の復習
	実習後の振り返り	介護現場の疑問や質問など意見交換や感想
	その他	入校式後のオリエンテーション2h、修了式後のオリエンテーション2h
	介護デジタルリテラシー	介護ICT・コンプライアンス・モラル
実 技	生活支援技術Ⅰ 生活支援技術Ⅱ	自立に向けた生活支援技術の基本・利用者の心身の状態に応じた生活支援技術
	こころとからだのしくみⅡ	心身の構造・機能と介護における観察のポイント
	介護過程Ⅲ	介護過程の展開の実際
	実技演習	総合生活支援技術演習
	医療的ケア	喀痰吸引・経管栄養(基礎的医療)(実施手順)
	行動援助	記録等の共有に関する演習・コミュニケーションの理解に関する演習・ある特性の理解に関する演習・アセスメントに関する演習・支援に関する演習・記録に基づく支援の評価に関する演習・危機対応と虐待防止に関する演習
	全身性障害者移動支援	車いすでの移動の支援に係る技術に関する演習・公共交通機関(電車・バス等)の利用
	介護現場のレクリエーション技術	介護施設でのレクの進め方・レクリエーションの実行と見直し
実 技	(職場実習) 施設での介護実習・現場見学等	有料老人ホーム・介護老人保健施設・特別養護老人ホーム・グループホーム・デイサービス・障がい者施設・小規模多機能・生活介護・サービス付き高齢者住宅
訓練時間 総合計630時間(学科372時間、実技222時間、職場実習36時間) 別途入校式・修了式等2時間 訓練日数 総合計121日		
就職先と主な業種・職種	社会福祉施設・訪問介護事業所等・障害者施設・障害児事業所等における介護の職種	
就職実績	令和5年度の就職率92.3%	

◆座学訓練場所

マップ ↓

